

宮古島市 保良自治会

集落
部門

歴史を繋ぎ地域で育てるふるさとづくり
(令和2年度認定)



写真提供: (株)宮古毎日新聞社

保良自治会のある保良地区は、宮古島の南東部に位置し、景勝地として有名な東平安名崎を有する集落である。住民の約半数が農業に従事し、基幹作物であるさとうきびの他、肉用牛の飼養や園芸品目の栽培が行われている。

1908年の自治会発足当初より開催されている「共進会・豊年祭」は、地区内外から住民や出身者等が一堂に会して開催される保良地区最大のイベントである。共進会では地区内の優秀な優良農家・畜産農家を表彰し、豊年祭では五穀豊穡を祈願して、舞台上で様々な伝統芸能や余興が披露され、楽しみながら親睦を図る機会となっている。

保良地区に伝わる伝統芸能には「保良ヨンシー」や「保良クイチャー」、「保良川のうた」、「保良の応援歌」などがあり、これらは集落内外のイベントで披露され、子どもからお年寄りまで世代間を超えて親しみながら継承されている。

また、敬老会や十五夜祭、学事奨励会といった年中行事も行われている他、住民参加の農地清掃活動にも精力的に取り組み、住民の交流が積極的に図られている。

このように、多面的機能の保全や伝統文化の継承を通じた「ふるさとづくり」に取り組んでいることから、「沖縄、ふるさと百選」集落部門に認定された。



共進会で表彰を受ける農家



子ども会が踊るヨンシー(写真提供:株宮古毎日新聞社)



保良クイチャー



保良の応援歌



農地水活動



学事奨励会(写真提供:株宮古毎日新聞社)